

日程を節に同盟運動の前進を

- ☆中央本部が「2万人の同盟実現特別期間」
《3月初～6月末》を提起
- ☆県・支部に推進体制を確立し、自主目標の達成を！
（又は1/1現勢の125%を）

1月30日～5月15日 秋田県内9市町村議選

4月2日 映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯」完成（以後、上映運動へ）

5月11日（案） “国会請願、一会員一人10筆を

6月12日、13日 “全国大会、

6月22日か23日 “参院選公示、（案）

7月10日 参院選投票日（案）

今年前半の政治日程は極めて重要です。自公政権の「改憲策動」「参院選野党共闘阻止の反共攻撃」に加え、新型コロナ「オミクロン株」の猛威と政府の成り行き任せなど、緊張度の高い半年です。

県・支部指導部は“会員拡大推進委員会”を確立し、団結と熱意で、諸課題をやり抜きましょう。

「憲法改悪」「野党共闘切り崩し」「コロナ禍」に負けない団結と、計画的行動で、会員拡大と署名運動で必ず前進させましょう。

支 部		大 館	鷹 巣	能代	秋 田	本荘	大曲	横 手	湯 沢	県
個人署名	目 標	1,000	500	690	3,500	800	1,000	820	700	6,000
	到 達	380	181	70	286	45	17	20	100	949
団体署名	目 標	75	50	60	200	80	50	80	30	400
	到 達	32	6	7	3	10	0	3	10	71
会 員	目 標	54	30	30	200	30	30	32	75	400
	到 達	45	22	27	127	18	25	21	44	333

2月1日現在



【秋田県版】

No. 368

2022年2月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

発行人：田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

秋 田 県 本 部

〒014-1413

秋田県大仙市角間川町

宇東中上町27

最上健造 方

TEL&FAX

0187-65-2115

同盟運動の目的

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 1、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 2、国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
 - 3、国は、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容を公表すること

北の群像

3・15、4・16弾圧に屈せず
闘った北海道生まれの2人

棚橋勝子・貞雄

北海道版不屈1月号から転載

原城カツ（勝子）は1899年（明治32）年7月27日に有珠郡杜警村（現町）で富山県人、原城周作の長女として出生。室蘭高等女学校で3年学び退学後上京し、東京女子医専に入學しました。在学中に、堺真柄、山川菊栄らの組織した赤瀬会に参加し、伊藤野枝とも交友がありました。また共産主義グループ「水曜会」にも入りました。

勝子は1923年3月8日、第1回国際婦人デーに参加しました。この国際婦人デーは有島武郎のカンパで会場費が賄われたというエピソードもありましたが、官憲の「解散」命令でわずか40分で終了させられました。

4月には女子医専学生・川上あい（のち黒田壽男夫人）らと社会問題研究会「七日会」を組織し、女性に対する社会主義の啓蒙宣伝活動をしたとして検挙されました。

23年11月女子医専を卒業、東京大森駅近くの小児科病院に勤務し、のち秋田赤十字病院に赴任します。27年3月、棚橋貞雄と結婚します。原城と棚橋とは「水曜会」での知り合いです。

棚橋貞雄は、蒸気船機関士の友三郎・タマの長男として1899年9月13日、函館区の生まれ。苦学して明治大学に学んでいましたが、1923年の第1次共産党弾圧事件で退学になります。小牧近江の奔走復学、24年卒業。労働農民党秋田県連の結成に参加する活動家でした。

2人の結婚式の模様を「秋田魁新報」（27年3月3日）伝えています。

「…定刻普賢着のまま新郎新婦神前の式を終る殿の祝宴に移ったが、集まる人百五十名、ろくに座る席もない、油じみたナツパ服あり、シャツ股引きの職人あり、印半天

あり、羽織袴なんか一人もなく、工場の騒ぎそのまま此処にブチまけたような光景、紳士らしいのは赤十字のお医者数名だけだ。正面には赤旗三旗をたてたらべ、花嫁花婿の前に立つて『更に勇敢に斗つべし』と誓う。」と。

秋田赤十字病院は、こうした棚橋との結婚を理由に勝子を解雇しました。勝子は27年5月、土崎港町に小児科病院を開業し、庶民のための医療に心を尽くすとともに貞雄の運動を支えるために献身しました。勝子は開業広告で「毎週土曜日午後1時より3時まで無料にて育児の相談に応じます」と呼びかけ、開業早々から非常な繁盛ぶりでした。医院の離れ座敷は社会運動家のたまり場、兼事務所になりました。

貞雄は1927年9月の第1回普選の秋田県会議員選挙に労働農民党で立候補し、落選しましたが、11%もの得票を得るなど地域の支持を得ていました。

1928年の3・15弾圧で貞雄も勝子も検挙され、勝子は取調べの後、釈放されますが、貞雄は懲役3年（求刑7年）の実刑でした

が控訴して闘います。翌30年の4・16弾圧で勝子は再び検挙されます。貞雄の妹・タノも検挙されますが、ともに不起訴となり釈放。引き続き弾圧犠牲者の救援活動を行います。

しかし、貞雄が刑務所の虐待で結核に冒され、仮釈放となりましたが、その看病にあたった勝子も罹病し、翌33年10月4日、死亡しました。わずか34歳でした。

貞雄は、翌年1月29日、東京控訴院で懲役2年執行猶予5年の判決となりました。釈放後、東京木材通信社秋田市局を担当、のち、上京して東京木材通信社の社長となりましたが、45年3月10日、米軍の東京大空襲により東京深川で死去しました。享年44歳でした。

棚橋貞雄、勝子ともに、官憲の暴圧と戦争のために、短い生涯を終えました。どんなにか悔しい思いだったでしょう。しかし北海道生まれの2人の生涯は社会進歩と革命に捧げた人生でした。

（近江谷昭 郎著『不屈の群像』『同盟秋田県2006年刊』等を参考にしました。宮田汎筆

「不屈」再録シリーズ⑪
県版「不屈」No.20（1993年1月）より

詩

草萌の季節が

吉田 朗

年の瀬が近づくと
詩人柴田正夫の書いた茶掛を
床の間へかけることにしてい
る
一九六六年に書いてくれたも
のである

もはや、だいぶ煤けているが
待春 一曲 清歌
の二三行に分けた文字が
暗い空間になんとも古風でお
もしろい

雪に吹かれ
雪に埋もれる日々を
一曲の清歌を聞くおもいで

私も春を待つのである

春を待ったリベラリストの心
情が分かりますくらい
私には分かるから

この軸を大事にしている

一九四二年、天皇の走狗は
何を血迷ってか当時、仙北郡横堀村に編集部
を置く

蠍座（さそりぎ）を弾圧した

詩人かつ奇才の加才信夫や
俳人高橋紫衣風（現存）など

が

特高にひっぱられていく

加才はそれでからだをこわし
死んだ柴田は獄窓につながれなかつ
たが加才や紫衣風の傷みを
おのがいたみとして戦後を生
き

そして死んでいった節がある

召集令が来て家を発つとき
蠍座や発禁書を油紙に包み家族にも誰にも告げず
庭に埋めていった話を彼から
聞いた警職法改悪反対のちようちん
行列のあとみんなでレストランに立ち寄っ
たときボールペンを何本もテーブル
に突きさし警察権力の非を叫ぶ姿を
私は見た

柴田にとつての春は

アテルイも多喜二も
鶴沼勇四郎もすべて名誉ある犠牲者として
国により遇されるときだった
に
違う

雪解けが来て冬は去り

やがて草萌の季節がくる

詩人柴田正夫の待ち望んだ春
も
かならず、くると
信じている※吉田朗氏も、（現存）と書
かれています紫衣風も故人です。
「蠍座」（さそりぎ）は治安
維持法で弾圧された俳誌です。

「治安維持法・戦争・反共・闘いと抵抗」 【学習資料】①

「治安維持法・戦争・反共・闘いと抵抗」の歴史を学習するうえで、できるだけ当時の資料を紹介していきたいと思えます。

最上健造

政府の考え・決意

「治安維持法制定の政府の考え」——国のあり方を変えることは絶対許さない

治安維持法が公布される直前の国会での政府の発言・答弁です。

引用した文献

大正14(1925)年2月
官報号外 衆議院議事速記
録第十六号
「第五十回帝国議会 衆議院
治安維持法案 第一讀会
(どっかい)」より

▼「國務大臣 (若槻禮次郎君)——法案の内容は万世一系の皇室を奉戴して居る、帝国のこの国体を変革しようとするような事柄、又明治大帝の大御心によつて創定せられたる我が立憲政体を変革して、議會否認を為すと云うような事をせんとするような事柄、又は私有財産制度を根本から否認して共產主義を行わんとするが如き、我が国家組織の大綱を破壊せんとするが如き、不法なる結社——」

▼「國務大臣 (若槻禮次郎君)——国体を破壊しても、経済組織の根本を破壊しても、言論は自由であると云うことは出来ませぬ(拍手)。……その害毒最も甚だしきもの」、「国体と云うのは前に申した通り、帝国の国体は万世一系の天皇を奉戴したる帝国と云う、是が日本帝国の国体であります。此の金匱無欠の国体を変革せんと企てる者があるならば、この法律に依つて取締をしなければならぬ」

「本法案は只今申し上げる俗の言葉で申し上げれば、この法律は無政府主義、共產主義を取り締まるという精神から出ているのであります」

「この法案は最も極端なる者を取り締まろうと云うのであります。最も国家社会に害毒のある者を取り締まろうと云うのであります」

▼「國務大臣※司法大臣(小川平吉君)——本法は国家の根本を素(みだ)る所の者を罰すると云う考えであります。すなわち国体を変革し若(も)しくは立憲君主政体を変革すると云う如き、この根本の問題に対して特別に重き刑罰を設けて処分すると云う趣意であります」。

「今月の注目の言葉」

共感と連帯に満ちた空気が

そこにいる人を
とれだけ力づけるかを
身をもって学んだ。

「こういう社会をつくりたい」と思える希望の光景が、そこにあった。

(2022・1・17「しんぶん赤旗」『朝の風』より)

2022年2月27日

新日本婦人の会秋田県本部第31回大会 御中

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

(略称…治安維持法国賠同盟)

秋田県本部会長 最上健造

メッセージ

第31回県本部大会に、心からの連帯の挨拶をおくります。

女性運動、女性団体は数々ありますが、「新日本婦人の会」こそ女性戦線を中心



的存在と確信します。
とりわけ女性の平和的生
存と人権擁護のご奮闘、さ
らに日常社会の女性の願い
や要望に心を寄せた運動に、
心から敬意を感じます。

情勢は、自公政権の「コロナ禍」への対応のまずさ
だけでなく、「憲法改悪」、
「戦争する国づくり」、
「差別と貧困の格差」など、
庶民にとって危険な悪政が
進められています。また侵
略戦争や植民地時代の圧政
を否定する歴史修正主義が

ゴリ押しされています。
同時に、憲法擁護、核
兵器廃絶、新自由主義見
直しなど草の根から真剣
な運動が広がっており、
この夏の参院選が極めて
重大な闘いになっていま
す。

私たちは、皆様と可能な
協力共同をすすめ、憲法改
悪を阻止し、「再び戦争と
暗黒政治を許さない」社会
をめざします。

運動には、様々な困難を
伴いますが、お互いに運動
と組織の「継承と前進」の
ために頑張りましょう。

第31回大会が、新たな前
進の出発点になることを期
待し、メッセージとします。

以上

(2月27日行われる新婦人
の県大会に県本部からメッセー
ジを送りました)

【訂正】

「不屈」1月号 再録
シリーズ⑩ 中川利三郎
「新春随想 歴史につい
て」2ページ下段4行目

誤「バミール海峡」
正「バシー海峡」

※1993年1月の「不
屈」の印刷が「バミール海
峡」に誤植されていまし
た。

おくやみ

謹んでご冥福を祈ります

藤田 猛 さん (88歳)

秋田支部1月11日逝去

鈴木万喜夫さん (72歳)

秋田支部1月30日逝去



参院秋田選挙区に 共産党 藤本ゆいさん立候補 (国賠同盟員)

ゆりさんは

「競争をあり、自己責任押し付けで弱者を切り捨て、格差や貧困を広げる新自由主義の社会・政治から、誰もが自分らしく生きることができるジェンダー平等の社会へ。憲法改悪許さず国民の命と暮らしを守り応援する政治に変える大きなチャンス、参院選でつくりたいと思い立候補を決意した」と力強く決意表明しました。



緊急お知らせ

2月26日、27日開催予定の

★小林多喜二祭（秋田市）

★記念のつどい（大館市）

いずれも「コロナ禍」のため
延期になりました。